

◎緑政の経費

風致保存会助成事業

みどり課

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり: 豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 鎌倉の歴史的景観と豊かな自然環境を後世に伝えるために活動している(財)鎌倉風致保存会の組織の充実を図り、自主的運営の強化を図るため。

効果 会員(市民等)と連携した緑の環境づくりを図る。

【事業の内容】

(1) 風致保存会助成事業

- ・ 風致保存会を運営するための補助金を交付した。また、鎌倉市風致保存基金に積立てた一般からの寄附金を同会へ寄附金として交付した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,451	16,652	16,651		1

主な支出内訳

・ 風致保存会助成事業

風致保存会運営費補助金

15,251

風致保存会寄附金

700

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 景観-07 風致保存会助成事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	309 風致保存会助成事業					
主管課	みどり課	関連課					
分野名	みどり						
目標 (目標値)	自然の風光と豊かな文化財を後世に伝えることを目的に活動している「財団法人鎌倉風致保存会」の自立・自主運営を図り、市民のみどりに関する保全運動等の活性化を図る。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	16,651千円	16,543千円	15,694千円			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	16,651千円	16,543千円	15,694千円			
	人員配置数	0.2人	0.2人	0.2人			
	人 件 費	1,858千円	1,855千円	1,872千円			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費	18,509千円	18,398千円	17,566千円			
	市民1人当 りの経費	105円	105円	100円			
対象者1人 当りの経費							
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している							
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・自主財源のみでの運営は困難な状況にある。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・平成10年度から会員制を導入し、人材の確保とともに財源の確保に努めている。(平成20年度についても同様)
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・風致保存会が実施している多くの事業は、その性格上、営利を目的としたものではないことから、自主財源での運営は困難な状況にある。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・緑化推進団体の育成及び組織充実を図るため、今後とも必要な支援を続ける必要がある。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	自然の風光と豊かな文化財を後世へ伝えることを目的とし、様々な事業を展開している同会の活動は、鎌倉市のみどりの保全、緑化思想の普及啓発という点からも重要だと考えている。 今後も、財政的な面だけではなく、活動紹介の場の確保など、会員の増加につながるよう支援し、自立を促していきたい。				
担当課長氏名:		みどり課長 村井 徹			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	風致保存会が組織として、自主的に様々な活動を行っていくために、今後とも支援や指導をする必要がある。				
担当部名	景観部	部長名	土屋 志郎		